

『建設物価 土木工事費指数』 2025年4月分の指数データを試験公表

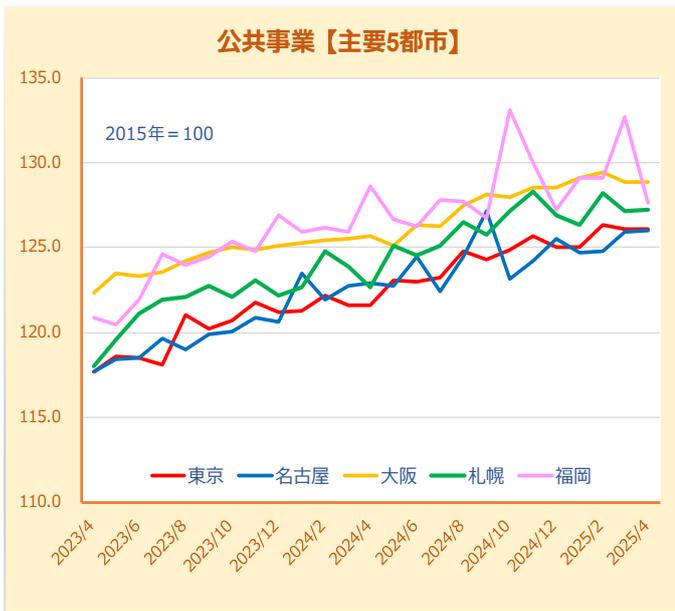
一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、『建設物価 土木工事費指数』の2025年4月分の指数データを2025年5月12日13:00より試験公表いたします。

土木工事費指数は、工事価格の変動を時系列や地域毎に把握することを目的に作成されており、物価としての土木工事費を時点間で比較したり、時系列でその動向を観察することも可能です。

■2025年4月分の指数動向（工事原価指数 東京）■（2015年=100.0）

- ▶公共事業の指数は、126.1(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.7%増**となった。
- ▶治水の指数は、127.0(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.7%増**となった。
- ▶道路の指数は、124.0(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.5%増**となった。
- ▶下水道の指数は、128.3(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**4.3%増**となった。
- ▶道路改良の指数は、123.4(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.7%増**となった。
- ▶道路舗装の指数は、116.7(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.3%増**となった。
- ▶道路橋梁の指数は、130.5(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.5%増**となった。
- ▶道路補修の指数は、118.4(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.6%増**となった。
- ▶災害復旧の指数は、125.6(暫定値)と前月比で**0.0%増**、前年同月比**3.7%増**となった。

■工事原価指数グラフ■



■工事原価指数値■

公共事業【主要5都市】

※2015年=100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2024年 4月	121.6	122.9	125.7	122.7	128.7
5月	123.1	122.8	125.1	125.1	126.6
6月	123.0	124.4	126.3	124.5	126.2
7月	123.2	122.4	126.3	125.1	127.8
8月	124.8	124.5	127.5	126.5	127.7
9月	124.3	127.1	128.1	125.7	126.8
10月	124.8	123.1	127.9	127.1	133.1
11月	125.7	124.2	128.5	128.3	130.0
12月	125.0	125.5	128.5	126.9	127.3
2025年 1月	125.1	124.7	129.1	126.3	129.1
2月	126.3	124.8	129.4	128.2	129.1
3月	126.1	125.9	128.8	127.2	132.7
4月	P 126.1	P 126.0	P 128.9	P 127.2	P 127.6

※2025年4月の指数は「暫定値(P値)」です。

■2025年4月（暫定値）の土木工事費指数

～【公共事業】2025年4月 東京で126.1、前年同月比3.7%増と堅調な伸び～

2025年4月における東京の公共事業指数（暫定値）は126.1となり、前月比で0.0%の増加、前年同月比では3.7%の上昇を記録し、堅調な増加傾向を示した。工事種類別では下水道が前年同月比で**4.3%増**と最大の伸び率を示した。主要5都市（東京・大阪・名古屋・福岡・札幌）のうち、東京では前年同月比で最も大きな伸びとなった。指数上昇の主要因は**材料費と労務費の上昇**にある。寄与度では、**材料費が+1.8、労務費が+1.3**であった。一方で、各都市で46カ月間続いてきた前年同月比の上昇傾向には変化がみられ、福岡では**マイナスに転じた**。また、**前月比も福岡が-3.9%の大幅な下落**となった。福岡の下落要因は、**労務費の減少によるもので、寄与度は-3.8**であった。材料費の詳細な内訳については、「建設物価 建設資材物価指数®」を参照のこと。

【本件に関するお問合せ先】



一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 担当：池原 Tel : 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail : cecc_index@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_doboku/